

残留塩素等検査実施記録票（例）

ビル名	
実施年月	年 月

点検日時			検査者	検査場所（					備考
日	曜日	時刻		遊離残留塩素	色	濁り	臭気	味	
1		:							
2		:							
3		:							
4		:							
5		:							
6		:							
7		:							
8		:							
9		:							
10		:							
11		:							
12		:							
13		:							
14		:							
15		:							
16		:							
17		:							
18		:							
19		:							
20		:							
21		:							
22		:							
23		:							
24		:							
25		:							
26		:							
27		:							
28		:							
29		:							
30		:							
31		:							

<特記事項>

- 実施方法: (DPD法・)
- (1) 記入方法: 遊離残留塩素 … 測定値を記入する(mg/lは省略してよい)。
色・濁り・臭気・味 … 有の場合、赤色、白濁、油臭、渋味など状態を具体的に記入する。
 - (2) 点検箇所は、給水末端(高置水槽からできるだけ遠い経路)の蛇口から採水のこと。
 - (3) 結果が異常の場合は、すみやかに原因・改善を行い、水質検査による安全の確認をすること。
 - (4) 給湯水の場合は、必要に応じて備考欄に給湯水の温度を記入すること。
 - (5) 給湯水の場合、水温55℃以上に保持されている場合は、残留塩素濃度の測定は省略できる。